

舞鶴遊水地で渡り鳥を見てみよう！



【開催概要】

日時 平成30年3月17日(土) 9:00~9:50

主催 タンチョウも住めるまちづくり検討協議会 地域づくり専門部会

参加者 子ども9名、保護者5名、一般1名 運営 地域づくり専門部会2名、長沼町3名

【実施内容】

舞鶴遊水地観察小屋(仮)で、舞鶴遊水地の役割や渡り鳥が飛来する理由、良くみられる渡り鳥の特徴を説明した後、水面が解けて水鳥が集まっている場所へ移動し、観察を行った。

【実施風景】



施設で舞鶴遊水地や野鳥の説明を説明

持参した双眼鏡で野鳥を観察する参加者



望遠鏡で見た鳥を当てるクイズ。参加者は、望遠鏡から見える鳥と配布資料を見比べながら、自分が見た鳥の名前を当てた。

【配布資料】

イベント終了後も自分で野鳥観察ができるように、春に舞鶴遊水地に飛来する鳥を紹介する資料を配布。

舞鶴遊水地で渡り鳥を見てみよう！

3月頃から、たくさん渡り鳥がシベリアなどの北国へ帰る途中、舞鶴遊水地にお休みするためにやってくる。どんな渡り鳥が来ているのか、見かざないようこそと見てみよう！

春の舞鶴遊水地で見られる鳥たち ~ 見つけたら、口のなかにVをつけよう! ~

<p>オオハクチョウ レア度★★</p> <p>オオハクチョウとコハクチョウの見た目は、とてもそっくり。見分けるときのポイントは「くちばし」の模様です。どんな違いがあるの、わかるかな?</p>	<p>コハクチョウ レア度★★</p> <p>くちばしはピンクで、嘴は黒い。喉は黒い。足は黒い。くちばしはピンクで、嘴は黒い。喉は黒い。足は黒い。</p>
<p>マガモ レア度★</p> <p>オスは頭が緑で、頬が赤い。首にはブルーの模様がある。メスは頭が茶色で、頬が茶色。首には茶色の模様がある。</p>	<p>ヒドリギモ レア度★</p> <p>オスは頭が赤で、頬が赤い。首には茶色の模様がある。メスは頭が茶色で、頬が茶色。首には茶色の模様がある。</p>
<p>オナザギモ レア度★</p> <p>オスは頭が黒で、頬が黒い。首には茶色の模様がある。メスは頭が茶色で、頬が茶色。首には茶色の模様がある。</p>	<p>ミコアイサ レア度★★★</p> <p>オスは頭が黒で、頬が黒い。首には茶色の模様がある。メスは頭が茶色で、頬が茶色。首には茶色の模様がある。</p>

※レア度が低いほど、舞鶴遊水地ではよく見ることが出来ます。

<p>ヒシクイ レア度★★</p> <p>「ヒシクイ」という鳥の名前が由来で、この鳥は春から秋まで舞鶴遊水地に飛来します。くちばしはオレンジ色をしています。</p>	<p>マガモ レア度★★</p> <p>くちばしはピンクで、嘴は黒い。喉は黒い。足は黒い。くちばしはピンクで、嘴は黒い。喉は黒い。足は黒い。</p>
<p>オオワシ レア度★★★★★</p> <p>翼を大きく広げると40cm! 日本では最大ワシのワシです。黄色いくちばし、黒い300羽をもちいています。</p>	<p>オシロワシ レア度★★</p> <p>オオワシより少し小さいワシです。体は黒で、くちばしは黒い。くちばしは黒い。くちばしは黒い。</p>
<p>タンチョウ レア度★★★★★</p> <p>日本で一番背が高い鳥。足のつっぱんの骨が長く伸びています。春にタンチョウが飛来する季節です。タンチョウの大きさは150cm(5ft)です。オシロワシやオオワシよりも大きいです。</p>	<p>オオサザギ レア度★★</p> <p>オスは頭が黒で、頬が黒い。首には茶色の模様がある。メスは頭が茶色で、頬が茶色。首には茶色の模様がある。</p>

※舞鶴遊水地や周辺地域には、観察しにくい鳥もいます。